

第1学年〇組 学級活動指導案

指導者 白水 裕美

1 活動主題 「自分や相手を大切にしている関係について考えよう」

2 指導観

- 近年スマートフォンや SNS の普及を始めとする様々な生活環境の変化により、人間関係の基礎となる社会的能力を身につける機会が減少し、他者とのコミュニケーションの取り方や人間関係に変化が見られている。自他どちらかの感情や行動だけを優先したり我慢したりするような一方のコミュニケーションが、トラブルやストレスを抱える要因になっていることも少なくない。今後変化の激しい時代を協働しながら生き抜いていくことが求められる子どもたちにとって、自他どちらも尊重した伝え方や行動、断る・逃げる・相談するといった対人関係（社会的能力）のスキルを身につけておくことは、より重要な力であるといえる。また、人との距離感におけるルールやデートDVといった身近に起こる可能性のある問題について正しい知識を身につけることは、知らないうちに加害者や被害者、傍観者になることを防ぎ、誰もが安心できる関係をつくることにつながると考える。

本活動「自分や相手を大切にしている関係について考えよう」は、よりよい対人関係の築き方について探究する活動である。この活動を通して子どもは、心と体の適切な距離感について理解し、自他を尊重した対人関係を築くためのスキルを身につけることができる。また、自分や他者の感情を理解・コントロールした上で適切な自己表現や解決方法を伝えあうことができるようになり、よりよい関係を築いていこうとする態度もはぐくむことができる。

- 本学級の生徒（〇名）に「中学生用 SEL-8S 自己評定尺度」を用いて事前調査を行った。中学1年生における平均値を偏差値 50 とした結果、8つの社会的能力の各平均値は表1のようになった。

40～60 を平均的な状態とすると、どの能力も平均範囲内であるが、「自己への気づき」は〇.〇、「自己のコントロール」は〇.〇という値であった。また、その二つの能力において偏差値 40 以下の生徒は〇名ずつであった。

以上のことから、自分の感情に気づくことや物事を適切に処理できるように情動をコントロールし取り組む力に課題がみられることがわかった。自己理解は、他者との関係における基礎となる部分でもあることから、自己理解や活動に関するスキルを練習することによって、自他を尊重した関係を築くことができるように指導していく必要がある。

	能力	学級平均
基礎的社会的能力	自己への気づき	〇. 〇
	他者への気づき	〇. 〇
	自己のコントロール	〇. 〇
	対人関係	〇. 〇
	責任ある意思決定	〇. 〇
応用的社会的能力	生活上の問題防止のスキル	〇. 〇
	人生の重要事態に対処する能力	〇. 〇
	積極的・貢献的な奉仕活動	〇. 〇

【表1 自己評定尺度の結果】

- 本活動では、心と体の適切な距離感について課題意識を持ち、自他を尊重した対人関係を築くためのスキルを身につけ、問題解決の方法を考え伝えあうことで、よりよい対人関係をつくっていこうとする態度を高めることができるようにすることをねらいとする。
 - ・一次では、心と体の適切な距離感について課題意識をもつことができるように、プライベートゾーンのルールについて確認し、主張的な自己表現のスキル練習を行う場を設定する。
 - ・二次では、思春期の心身の変化について理解することができるように、生殖機能の成熟について保健体育の学習と関連させる。また、自他を尊重した対人関係を築くためのスキルを身につけることができるように、SEL-8S のスキル練習を行う場を設定する。
 - ・三次では、自他を尊重した問題解決の方法を考え、よりよい対人関係をつくっていこうとする態度を高めることができるように、学んだ SEL-8S のスキルを使ってデートDV の事例を解決する場を設定する。また、被害にあった際の対応を理解することができるように、相談先の情報や方法を提示する。

3 目標

- 心と体の適切な距離感について理解し、自他を尊重した対人関係を築くためのスキルを身につけることができる。
- よりよい関係をつくるために必要な自己表現や解決の方法を考え、伝えあうことができる。
- 自他を尊重し、よりよい関係を築いていこうとすることができる。

4 計画 (3時間+α)

次	学習活動・内容	手だての内容・方法・留意点	観点：評価規準
一	<p>1 よりよい関係について考える。 【学活(2)・ウ】</p> <p>(1) 心と体の適切な距離感について考える。 ・プライベートゾーン ・安心できる心と体の距離感</p> <p>(2) 学習課題を設定する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>学習課題 自分や相手を大切にす関係について考えよう。</p> </div> <p>(3) SEL-8S のスキル練習をする。 ・アサーション</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・安心できる関係をつくっていく上で大切な心と体の適切な距離感について理解することができるように、プライベートゾーンのルールやパーソナルスペースについて確認する。 ・自他を尊重した伝え方を身につけることができるように、SEL-8S のスキル練習を行う場を設定する。 	<p>知：プライベートゾーンのルールや他者との適切な距離についてポイントを整理している。</p> <p>思：上手な（主張的な）自己表現をすることができる。</p>
二	<p>2 思春期の心身の発達について学習する。 【保健体育】</p> <p>(1) 生殖機能の成熟について知る。 ・生殖器の発育、発達 ・他者への興味、関心の高まり</p> <p>3 SEL-8S のスキルを練習する。 【学活(2)・ウ：朝の学習】</p> <p>(1) 感情コントロールと対人関係のスキル練習をする。 ・自己の感情理解 ・他者の感情理解 ・対人関係、自己のコントロール</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・思春期の心身の発達について理解することができるように、生殖機能の成熟について、保健体育の学習と関連させる。 ・自他理解を深めることができるように、学習内容に関連するSEL-8Sのスキルを組み合わせる練習を行う場を設定する。 	<p>知：思春期の心身の発達の特徴を理解できている。</p> <p>思：SEL-8S スキルのポイントを理解している。</p>
三	<p>4 デート DV について理解し、問題解決法を探る。 【学活(2)・ウ】</p> <p>(1) デート DV について知る。 ・身体的暴力、精神的暴力、行動の制限、性的暴力、経済的暴力 ・デート DV の背景</p> <p>(2) 自他を尊重した解決方法を考える。 ・SEL-8S を使った解決方法 ・被害にあったときの対応</p> <p>(3) 活動を振り返る。 ・SOS を出す、気づくことができる関係</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・デート DV について正しく理解することができるように、身近な事例を用いて考える場を設定する。 ・自他理解を深め、尊重した問題解決を考えることができるように、学んだSEL-8Sのスキルを使ってグループで事例を解決する場を設定する。 ・被害にあった際の対応を理解することができるように、相談先の情報や方法を提示する。 	<p>思：SEL-8S のスキルをもとに、事例の解決法を考えることができている。</p> <p>態：よりよい関係について考えたことを今後の生活に生かそうとしている。</p>

本時

5 本時 第三次（1／1） 1年〇組教室

(1) 本時の指導観

前時までには子どもは、心と体の適切な距離感や思春期の発達について理解している。また、自己や他者の感情理解といった対人関係に必要なSEL－8Sのスキルについて学んでいる。そこで本時では、デートDVを取り上げ、今後対人関係において身近に起こりうる問題について正しく理解する。また、解決の方法について考える過程でさらに自他理解を深め、今後のよりよい関係の築き方について意欲をもつことができる。

(2) 主眼

- デート DV や性暴力について正しく理解し、SEL－8S のスキルを活用して自他を尊重した問題解決方法を考え、これからの生活に生かしていくことができるようにする。

(3) 準備

- ①学習プリント ②デートDV事例 ③タブレット

(4) 過程

T₁：学級担任 T₂：養護教諭

学習活動・内容	準備	手立ての内容・方法・留意点	形態	配時
<p>1 本時の学習の方向性を確認する。 T₁</p> <p>(1) 前時までの学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・心と体の適切な距離感 ・SEL－8Sのスキル <p>(2) めあてを設定する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> めあて よりよい関係をつくるための解決方法を 探ろう。 </div>	①	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の学習の見通しを持つことができるように、前時までの学習を振り返り、めあてを設定する。 	一斉	5
<p>2 デートDVについて知る。 T₂</p> <p>(1) どのようなものが暴力（デートDV）にあたるのかを理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身体的暴力、精神的暴力、行動の制限、性的暴力、経済的暴力 <p>(2) 暴力の背景について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・非対等な人間関係 ・性別による偏った見方 ・恋愛の誤った認識 	②	<ul style="list-style-type: none"> ・デートDVについて正しく理解することができるように、身近な事例を用いて考える場を設定する。 ・加害者が見知らぬ大人に限らず、年齢や性別問わず起こることを伝える。 	一斉	10
<p>3 自他を尊重した解決方法を考える。 T₁、T₂</p> <p>(1) グループで事例の問題解決方法を探る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活上の問題防止のスキル <p>(2) 学級で交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手の気持ちを知る、はっきり断る等 <p>(3) 相談先について知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・信頼できる大人に相談する ・警察／相談窓口 	② ③	<ul style="list-style-type: none"> ・問題解決の過程で自他理解をさらに深め、自他を尊重した問題解決を考えることができるように、学んだSEL－8Sのスキルを使ってグループで事例を解決する場を設定する。 ・様々な相談先を知ることができるように、サポート源を確認する。 	小集団／学級集団	25
<p>4 本時学習を振り返る。 T₁</p> <p>(1) 本活動を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SOSを出す、気づくことができる関係 ・普段から相手の気持ちも大切にしつつ、自分の気持ちも伝えることを意識していきたい 		<ul style="list-style-type: none"> ・これからの生活に生かしていくことができるよう、本活動を振り返る場を設定する。 	個	10

本活動の見どころ

(1) SEL－8Sの活用方法について

○ どのSEL－8Sのスキルを選ぶか

SEL－8Sのスキルには様々なものがあるが、本活動では「自分や相手を大切にする関係」について考えていくうえで、三次のデートDVや性暴力といった学習内容に関連したスキルを選択し、計画的に学ぶ場を設定した。今回選択したSEL－8Sのスキルは以下のとおり。

・上手な自己表現をしよう（対人関係、自己のコントロール）	・感情のサイコロトーク（自己の感情理解）
・相手の様子を確認しよう（他者の感情理解）	・声から感情を読み取る（他者の感情理解）
・はっきり断ろう（対人関係、自己のコントロール）	・問題を解決しよう（生活上の問題防止のスキル）

○ SEL－8Sのスキルを練習する時間

朝学習の時間を活用し実施するため、スキルワークの所要時間にもよるが、1つのスキルワークを10分単位に分割し、基本的には次のような流れとした。①導入（説明）－②ポイントの確認－③練習×2回（ペアやグループを変えながら）－④リフレクション。以下に、練習計画を載せる（表2）。

SEL－8Sのスキル	月	火	水	木	金
自己の感情理解	感情のサイコロトーク				
	感情の種類と強さ	感情の種類・強さと状況	サイコロトーク	サイコロトーク	リフレクション
他者の感情理解	相手の様子を確認しよう			声から感情を読み取る	
	体験、相手の気持ちを知るポイント	練習	練習	声から感情を理解するポイント、練習	練習、リフレクション
対人関係、自己のコントロール	はっきり断ろう				
	説明	断り方のポイント	練習	練習	リフレクション

【表2 SEL－8Sスキル練習計画】

(2) カリキュラムマネジメント

本活動では、保健体育科の授業内容に合わせて学活、教科、朝の学習の時間を関連させることとしている。「自分や相手を大切にする関係」には、心身の発達とともに高まる他者への興味に関連する内容が含まれているが、それは男女の性別に捉われず、友人関係においても同様に重要なものである。そこに必要なSEL－8Sのスキルを選ぶことで、日常生活場面でもスキルを生かすことができると考える。

また、養護教諭がコーディネートに関わることで、担任と連携し、保健室で捉えた子どもの実態や課題から活動内容を計画していくことができる。本活動では、養護教諭が活動計画とその指導案の提案を行った。担任には朝の学習でのスキル練習を依頼し、授業はTTで行う。

(3) 本時のみどころ

本時では、前時までで学んできたSEL－8Sのスキルをもとに、事例の解決方法をグループで考えていく。その際、問題解決法をそれぞれが話し合う中で、自分とは異なる捉え方や解決法があることに気づき、自分の考えを振り返る中で、さらに自分や他者の感情や考えの理解につながる。